

平成29年度 議会報告会

質疑応答概要

平成29年11月4日(土)・5日(日)開催

質問項目	要 旨	
財政	Q	市場の移転や医学部の設置等で多大な財政負担を負っているが、市民サービスが低下するなど、影響はないのか。
	A	執行部の説明によると、市場については、この先30年程度、毎年2,000万円ほどの黒字になるという試算であり、採算的には問題ないとのこと。 また、一般会計から最大で年間約4億円の繰入金を見込んでいるが、これまでも、同様の負担をしていた経緯もあり、財政への影響はないと考えている。 国へ補助金の増額を要望していくとの答弁であった。
	Q	成田市の財政力指数が高いのは成田空港からの固定資産税収入があるからだと思うが、空港関連の固定資産税収入はどのくらいか。
	A	空港関連の固定資産税収入は約117億円である。
	Q	予算がない中で卸売市場の移転は困難と思うが、議会としてどのようにチェックしているのか。
	A	一般会計と特別会計を合わせて約560億円の市債があり、その定期的な償還の仕方、お金の使い方というのは、各委員会においてしっかりチェックしている。 今後も、引き続き財政の推移をチェックしていく。
	Q	成田市の将来負担比率は。
	A	現在の将来負担比率は74.6%であり、財政が健全に推移していることを示している。
医学部・附属病院	Q	国家戦略特区なので、全て国が対応してくれるという理解でよいのか。
	A	平成28年度までに約100億円を支出し、ほとんどが起債によって賄われている。なお、平成25年から平成30年までの大学誘致に関する市の支出総額は125億9,400万円を予定している。
	Q	国際医療福祉大学が撤退するとなったときは誰が責任をとるのか。
	A	そのような事態になったとしても、起債はそのまま市が返済を続けることとなる。土地については、大学に無償で貸与しているため、市に土地を返却する契約になっている。 また、成田市と国際医療福祉大学とで、大学の経営の状況や市民からの様々な意見を伝える意見交換の場を設けており、議会としてもそのような事態に陥らないよう努力をしていきたいと考えている。

質問項目	要 旨	
卸売市場	Q	成田市場の輸出額その88億円全てが成田市場を通すことが可能なのか。
	A	開場してから5年後の輸出額の目標が88億円、青果物が約14億4,000万円、水産物が約73億6,000万円ということで、全て成田市場を通しての試算とのこと。 この88億円に関しては、今想定されている数字であり、今後どのような形で輸出を行っていくかについて業者が様々な案を持っており、未だこの数字にはあられていない部分もある。 想定されるとおり市場が使われるのかという面がある一方で、想定以上に市場を使って輸出させていこうというところのプラス面もあると思う。
	Q	現在の市場の跡地利用について、市有地は売却をする計画であり、建物は取り壊す予定と聞いたことがあるが。
	A	市場跡地は市有地と民地があり、跡地利用については市で明確な方針は打ち出してはいない。
	Q	現在の市場施設は解体することが決まっているのか。
	A	既存施設については、施設の老朽化、耐震の性能不足と流通経路の変化による取扱高の減少などの課題解消に向け、空港に隣接する立地を生かし、輸出拠点施設としての市場の移転に至っており、現在の水産市場は取り壊しという想定の中で進んでいる。
	Q	新市場オープン5年後の農産物の輸出額の中に地元農産物ほどの程度含まれているのか。市の農業振興をどう位置づけているのか。農業振興を明確に位置づけていき、しっかり議論することが議会と市民の役割。それをわかりやすく市民に伝えていただき、市民も参加していくという流れをつくっていただきたい。
	A	農産物の輸出高88億円の内訳は、青果物が約14億4,000万円、水産物が約73億6,000万円となっているが、このうち千葉県産の農産物の割合については具体的な数字が市からは示されていない。そういった検証も、今後委員会の中でしっかりとやっていきたい。
Q	市場の施設整備にあたっては、地方債を121億7,000万円発行することだが、何年で償還するのか。	
A	2050年までに全て償還するスケジュールとのことである。	
スケートボードパーク	Q	どのような経緯で整備に至ったのか。
	A	市と高校生との意見交換会において、スケートボードパークを希望する意見が出され、整備に至ったと聞いている。

質問項目	要 旨	
Jアラート	Q	Jアラートのテスト訓練は現在どのようになされているか。県や国、自衛隊との連携はどのようになされているか。
	A	市民全体を対象とした訓練の実施については、具体的には進んでいないのが現状である。しかし、国・県・市でどのような段取りをするかという報告は受けている。
自主防災組織	Q	なぜ自主防災組織の組織率がこんなに低いのか。
	A	現在、各地区において自主防災組織を立ち上げる実行過程である。市も区長会等の会議の場において、各地区へお願いをしているとのこと。
空き家問題	Q	なぜ空き家が発生するのか、その根本的な要因をどのように捉えているか。
	A	現状の把握では、大きな要因として高齢化に伴う家族構成の変化が考えられる。 対策については、今後練っていく段階とのこと。
I R・カジノ誘致	Q	I R、カジノ施設の誘致に関する陳情があったと聞いているが。
	A	市の商工業者の方々を中心に動いている話は聞いているが、議会では今のところそのような話は出ていない。
教育関連	Q	学校適正配置調査報告書では、教育諸条件の公平性を確保すると記載されているが、何が教育諸条件の不公平で、どのように是正していくのか。
	A	一つは少人数学級になっていく学校における教育を今後どうするかといった事等を踏まえ、学校適正配置調査報告書が作成され、それに基づいて、現在、鋭意学校区の見直しや統合等の政策を進めている。
ドクターヘリ	Q	附属病院の完成後、成田空港との兼ね合いから、ドクターヘリの利用に問題はないのか。
	A	進入航路の規制はあるが、ヘリポートを使うことは可能ということで聞いている。現在、日赤病院にヘリポートがあり、国際医療福祉大学の附属病院にもヘリポートができる予定とのこと。
請願・陳情	Q	陳情の取り扱いは。
	A	市民から提出され、市で処理できる権限のある陳情については、基本的に請願と同様に委員会で審査をする。そうでないものについては全議員に写しを配付し、周知している。

平成29年度 議会報告会

要望概要

項目	要 旨
鳥獣被害	隣の栄町でイノシシによる被害が出ている。イノシシが田んぼに入ると、米がだめになってしまうので、対策をお願いしたい。
水質	井戸水の水質が悪く、水道の敷設を要望しているが、市からは、採算がとれず難しいが今後検討したいとの回答があった。劣悪な井戸水に苦しまれ、非衛生的な生活を送っている市民を救ってほしい。
高齢者支援	高齢者は病院や買い物に行く交通手段がなく、オンデマンド交通も行く時に使用できても帰りは予約が取れないなど都合のいい時間に使えない。 コミュニティバスは、地域の人口や利用者数を勘案して整備していると思うが、松崎地区は本数が少なく大変不便である。
	高齢者が団らんでできる場所を各地域に整備してほしい。
登下校時の送迎	高齢者は受診したくても病院へ行けず、医師が自宅へ診療に来てくれる医療機関が少ない上、依頼しても3～4カ月先になってしまう。そういうことを実施する条件を踏まえなければ、新たな附属病院へは補助金を出さないようにしてほしい。
登下校時の送迎	八生小学校では、登下校の時間帯に学校の敷地内に保護者の送迎の車が入りし、通行に支障が出ている。教育委員会と議会が連携すれば、駐車場を整備するなど、解決できると思う。
学校跡地利用	中郷小学校跡地をコミュニティの拠点のために利用ということだが、公民館があるではないか。
空港関係	LCCの早朝便等により、空港に勤務している人は早朝に空港に行かなければならないので、今後、公共交通機関が早朝便や深夜便に対応できるよう、働きかけてほしい。
	騒音がひどく、子育てのために自主的に出ていってしまう。
赤十字病院との連携	成田赤十字病院は救急法や水上安全法の普及、講習会等を行っている。赤十字病院との関係を強めることにより、地域に防災のベースが作られ、防災意識のレベルが向上し、ネットワークが生まれてくると思う。
豊住ふれあい健康館	トレーニング室の機械の利用方法がよくわからないので、指導員を配置してほしい。